

2019 年度実施概要

学校名

福島県南会津郡只見町立朝日小学校

採択活動名

つながりの中で「只見愛」を育みながら、学び続ける子どもの育成

取り組みの概要

各学年でテーマを設定し、生活科、総合的な学習の時間を中心に、学校行事での体験的な活動とも関連を図りながら取り組んだ。また、各教科の内容との関連を図りながら、教科横断的な視点で単元を見直し、実践に取り組んできた。

<各学年での取組>

- 1年生のテーマ：「だいすきあさひ」
- 2年生のテーマ：「もっとなかよしまちの人」
 - ※ 低学年においては自分たちの地域のよさを十分に感じる学習を行い、自分たちの身近な水についても触れる体験から、海洋学習への素地づくりを行った。
- 3年生のテーマ：「只見の四季・自然」
- 4年生のテーマ：「ユネスコエコパーク，水を探れ，守れ！」
 - ※ 中学年では、只見の自然の豊かさを学ぶ学習から豊かな水を守っていく学習へとつなげ、只見の水を守ることや自分たちの生活を見直していくことが海の環境を守ることにつながっていくことに気づかせた。
- 5年生のテーマ：「只見の食と農」
- 6年生のテーマ：「只見の過去・現在・未来」
 - ※ 高学年では海辺の地域との交流等を通してふるさとを見つめ直したり、海洋環境の問題を考えたりする活動へと結びつけ、持続可能な未来に向けて自分たちに何ができるのかを考え、発信し、行動することができるような取組を行った。
 - ※ 6年生は、町内小学校と連携し「海洋教育地域成果報告会」を開催し、保護者や地域の方を対象に学習の成果を発表した。また、2月に開催された「海洋教育サミット」にてその成果を発表した。

<学校行事における主な取組>

- 1 只見町の雄大な自然を味わう活動：「なかよし活動」
 - 全校児童で学校近くの黒谷川へ行き、地域の方に教えていただきながら川遊びや魚取りをしたり、縦割り班で活動したりすることを通して、自然のすばらしさを感じると共に、川と海の間につながりについて気づくことができるようにした。
- 2 体験したことから学んだことを発表する活動：「学習発表会」
 - 学びの成果を保護者や地域の方に発表・表現することを通して、海への思いやつながりについての考えを深め、発信する機会とした。

活動中の写真



【「なかよし活動」でのイワナつかみ体験（1～6年）】



【学区内にある清水の見学（4年）】



【震災遺構見学（6年）】

実施单元名

1. 生活科「いきものと なかよし ～むしと なかよく なるう～」(1年)
2. 生活科「もっと なかよく まちたんけん」(2年)
3. 総合的な学習の時間「只見の自然博士になろう② ～只見の自然について知ろう～」(3年)
4. 社会科「住みよいくらしをつくる 水はどこから」(4年)
5. 総合的な学習の時間「レッツ・トライ in 黒谷川」(4年)
6. 社会科「わたしたちの生活と食料生産（水産業のさかんな地域）」(5年)
7. 総合的な学習の時間 「只見の過去・現在・未来 ～海やの地域から学んだことをもとに、町の未来を考えよう～」(6年)